

なぜ教科書について心配しているのか・・・
自分の体験をふまえて

大田区の教育委員さんたちに 手紙を書こう！

★ “思い” を教育委員さんたちに・・・

2005年採択時、杉並とならんで、台東区も、つくる会系教科書採択の可能性が大変高まっていました。そのとき、台東区では、東京大空襲や疎開、戦後の生活など、区民それぞれの、自分の切実な体験をふまえた、思いのこもった手紙を教育委員に沢山送ったそうです。

その年、ぎりぎりのところで、3対2に逆転、育鵬社版教科書の採択は食い止められました。

展示会での区民意見アンケートはとても大切ですが、展示会場での短い時間で十分気持ちが書ききれないこともあり、会場まで行けない方も多いです。戦争中のつらい記憶や親や祖父母から聞いた戦争の実態からの切実な気持ち、子育て中の親としての思い、教員たちの授業の経験をふまえた願いは、短くとも教育委員の方たちに伝わるとおもいます。自分の切実な経験をふまえて、戦争賛美、憲法否定の教科書に反対する気持ちを伝えましょう。

★大田区の教育委員さんたちは・・・

大田区の教育委員は、従来、職能代表のような形で選ばれてきました。現在は・・・

- | | |
|-------|---------------------|
| 法律分野 | 芳賀淳氏（弁護士） |
| 医学分野 | 横川敏男氏（蒲田医師会副会長） |
| 教育分野 | 尾形威氏（元校長） |
| P T A | 藤崎雄三（元会長） |
| 民生分野 | 鈴木清子氏（前羽田地区青少年対策委員） |
| 教育長 | 津村正純氏（前大田区区長政策室長） |



横浜市や東京都のように、首長が育鵬社支持の教育委員を一方向的に任命しているところでは、ほとんど全会一致で育鵬社が採択されます。しかし、職能代表的な委員の場合、必ずしも全会一致とはなりません。委員さんも一人の人間！！良識ある委員さんたちを応援し、迷っている委員さんたちに区民の気持ちを伝える心のこもった手紙はきっと気持ちが通じるとおもいます。

手紙の出し方

郵送、手渡し（区役所6F教育委員会受付） 差出人を明記してください。

郵送先 〒144-8621 大田区蒲田5-13-14

- | | |
|-----------------|----------------|
| ①教育委員個人宛て6通出す場合 | 大田区教育委員 ○○○様 |
| ②教育委員会全体に1通出す場合 | 大田区教育委員会教育委員御中 |